

【熊本S. J. C. D. 例会抄録】

演題：メタルインレー修復を再考する

演者名：影下 裕晃

日付：2017年3月28日

Key word

- 1 メタルインレー修復
- 2 MOD アンレー
- 3 予知性のある修復処置

抄録

M.I.やCR充填による審美歯科治療が主流になりつつある中、メタルインレー修復の使用頻度は減少傾向にある。

しかし保険診療においてメタルインレーを選択するケースはまだ多く不適切なインレー修復によってクラウンへと移行してしまうことは稀ではないと思われる。

今回はメタルインレー修復を基礎から見直し長期的な予後を目指した自分なりの取り組みを発表させていただきます。

初めての症例発表になりますのでスライドの内容から構成、発表の態度まで諸先生方のご意見、ご指導を頂ければ幸いです。